

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅰ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 幅広く音楽を形成する要素を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能と知識を活用することができる。 (2) 音楽を形成している要素を知覚し、それらの働きを感じながら、創意工夫した歌唱、器楽、創作の音楽表現をすることができる。 (3) 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	音楽Ⅰ Tutti+(教育出版) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	幅広く音楽を形成する要素を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能と知識を活用することができる。	音楽を形成している要素を知覚し、それらの働きを感じながら、創意工夫した歌唱、器楽、創作の音楽表現をすることができる。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽Ⅰ」を学習するにあたって 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽①(キーボード) ソルフェージュ(読譜、リズム打ち) 楽典(譜表と音名、音符と拍子、調号と臨時記号、音階と調) 西洋音楽史①②(ルネッサンス～古典派) 鑑賞(室内楽、歌曲など) 創作(旋律作り)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	器楽②(箏) 日本の伝統音楽 楽典(音程、三和音とコード) オーケストラの楽器と編成 音楽の形式 西洋音楽史③④(ロマン派～近・現代) 鑑賞(交響曲、オペラ、歌舞伎など) 世界の音楽、ポピュラー音楽	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅰ」を学習するにあたって…年間学習予定、学習のねらい 発声／イメージをもって歌おう…練習曲／「優しいあの子」	1 3
	5	楽典①② ……「譜表と音名」「音符と拍子」 日本歌曲を歌おう…「この道」「夏の思い出」 ソルフェージュ…読譜とリズム打ち	2 4 2
	6	楽典③…「調号と臨時記号」 ＜楽典小テスト＞ 西洋音楽史①…中世・ルネッサンス～バロック時代の音楽 歌の旅に出よう…Ⅰ－イタリアの民謡と歌曲－Ⅱ－英語のライムを感じて－	1 1 2 3
	7	歌の旅に出よう…Ⅲ－ドイツ語の歌曲－ 器楽①…キーボード「運指の基礎」「譜読み」「アンサンブル」 ＜実技テスト「歌唱」または「キーボード」＞	2 5 1
	8	西洋音楽史②…古典派の音楽	2
	9	楽典④…「音階と調」 創作…様々な音階を使って短いメロディを作ろう 前期の学習のまとめ	2 2 2
後期	10	楽典⑤…「音程」 器楽②…箏の基礎／「六段の調」	2 6
	11	＜実技テスト・箏＞ 日本の伝統音楽…「郷土の芸能」「雅楽」 楽典⑥…「三和音とコード」 ＜楽典小テスト＞ オーケストラの魅力を探ろう…オーケストラの楽器と編成／バレエ音楽「ボレロ」	1 2 2 1 2
	12	音楽の様々な形式…二部形式～ソナタ形式 ベートーヴェンと交響曲…交響曲第9番「合唱つき」 西洋音楽史③…ロマン派の音楽	2 2 2
	1	総合舞台芸術①…オペラ 総合舞台芸術②…歌舞伎 総合舞台芸術③…ミュージカル	2 2 2
	2	西洋音楽史④…近・現代の音楽 世界の音楽…諸民族の音楽／ポピュラー音楽	2 3
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

音楽の幅広い活動を通じて、音楽の文化的・歴史的背景や音楽の特徴を理解することで、より深く音楽の良さや美しさを味わうことができます。定期考査はありませんが、授業の中で行う実技テストや小テスト、提出課題などを重要視していますので、ぜひ意欲的に授業に参加してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表すことができる。 (2) 音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりすることができる。 (3) 幅広く音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協同的に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	音楽Ⅱ Tutti+(教育出版) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりすることができる。	幅広く音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協同的に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽Ⅱ」を学習するにあたって 歌唱(日本歌曲、外国語歌曲) 器楽①(キーボード)<実技テスト> 楽典(四和音とコード)<小テスト> 世界の音楽と踊り(サンバ、フラメンコ) 鑑賞(日本や世界の音風景)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	器楽②(ギター)<実技テスト> 鑑賞(交響詩・組曲など) 季節を楽しむ音楽 20世紀以降の音楽 創作(映像に合わせた BGM・効果音制作)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅱ」を学習するにあたって……年間学習予定、学習の「ねらい」	1
		言葉(歌詞)を丁寧に歌おう……「見上げてごらん夜の星を」「風の子供」	3
	5	語感を大切に歌おう……「Ich liebe dich (愛の願い)」	2
		英語でポップスを歌おう……「Yesterday Once More」	2
		楽典……復習／減三・増三和音、四和音とコード	3
		鑑賞……「アヴェ・マリア」を残した作曲家たち	1
	6	<楽典小テスト>	1
		器楽①……キーボード「音階」「譜読み」「アンサンブル」	4
		<実技テスト(歌唱または器楽)>	2
後期	7	鑑賞……演奏家と楽器が生み出す世界～名曲・名演奏聴き比べ	2
		世界の音楽と踊り①……「サンバ」に挑戦	6
	8	世界の音楽と踊り②……「フラメンコ」	2
	9	日本の音風景……箏曲、雅楽、三線、津軽三味線、神楽	4
		前期の学習のまとめ	2
	10	器楽②……ギターの基礎／音階／「カントリー・ロード」	8
	11	<実技テスト・ギター>	2
		鑑賞……「アランフェス協奏曲」(ギター)	1
		「標題音楽」の魅力……交響詩／組曲	2
後期		20世紀以降の音楽……劇音楽、映画音楽、ポップス	3
	12	季節を楽しむ音楽……クリスマス・ソングを歌おう・演奏しよう	4
		バレエ「くるみ割り人形」	2
	1	映像に合わせた BGM・効果音……準備	2
		素材集め、作曲	4
	2	制作(継続)	3
		<映像作品発表・批評>	2
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

「音楽Ⅰ」を修得した生徒が選択することができます。「音楽Ⅰ」で身に付けた学習内容をベースに、さらに幅広く様々なジャンルの音楽を扱い、理解と関心を深めていきます。基礎的な音楽理論を実践に生かして演奏を楽しんだり、創作的な内容や発表をしたりするので、毎時間の積み重ねが重要になってきます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・音楽Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 音楽の構造上の特徴と美しさとの関わりや、我が国及び諸外国の音楽の特徴、他の芸術や文化との関わりを理解することができる。様々な表現形態による特徴を理解し、歌唱や演奏等の表現に生かすことができる。 (2) 楽曲の表現内容を総合的に理解し、意図をもって表現上の効果を生かして創造的に歌唱や演奏などの表現を行うことができる。 (3) 音楽や音楽文化と、生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解し、主体的に表現や創作活動に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	Joy of Music(教育芸術社) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽の構造上の特徴と美しさとの関わりや、我が国及び諸外国の音楽の特徴、他の芸術や文化との関わりを理解している。様々な表現形態による特徴を理解し、歌唱や演奏等の表現に生かすことができる。	楽曲の表現内容を総合的に理解し、意図をもって表現上の効果を生かして創造的に歌唱や演奏などの表現を行うことができる。	音楽や音楽文化と、生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解し、主体的に表現や創作活動に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「音楽Ⅲ」を学習するにあたって 楽典総合①(小テスト) ソルフェージュ(小テスト) 歌唱「日本歌曲」「イタリア歌曲」「ポップス」 器楽、アンサンブル 鑑賞と批評 音楽の形式 弾き歌い<ピアノ又はギター>(実技テスト)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	楽典総合②(小テスト) 伴奏づけ(ピアノ又はギター) 日本と世界の文化と伝統芸能 新曲創作 合唱 指揮法 西洋音楽史、日本音楽史 芸術科発表会(実技テスト)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「音楽Ⅲ」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習の「ねらい」	1
		楽典①……………音楽Ⅰ・Ⅱの内容の総復習	3
	5	表現のための技能(ソルフェージュ)……………視唱、聴音	4
		表現意図をもって歌唱しよう①……………日本歌曲／イタリア歌曲	2
		表現意図をもって歌唱しよう②……………ポップス	2
	6	器楽①……………キーボード等	2
		器楽アンサンブル	2
		楽典②……………「調判定／音楽用語と記号」	2
		<小テスト(楽典・ソルフェージュ)>	1
	7	鑑賞と批評①……………演奏者、アレンジの違いによる比較など	2
後期		弾き歌い……………ピアノ又はギターから選択	6
	8	<実技テスト(弾き歌い)>	1
		音楽の形式……………二部形式、ロンド形式、複合形式など	1
	9	音楽の形式(楽曲分析)……………形式、調、拍子などからの分析	2
		鑑賞と批評②……………楽曲分析に基づく批評	2
		前期の学習のまとめ	2
	10	楽典③……………「和声と和音(コード)進行」	3
		伴奏づけ……………ピアノ又はギターから選択	5
	11	日本の伝統芸能……………「紅葉狩」を様々な形態で～能・歌舞伎・神楽～	2
		新曲創作……………コード進行を応用した曲作り	4
		指揮法……………基本の2拍子、3拍子、4拍子、強弱等	2
	12	美しいコーラス……………2部合唱(クリスマスソング)	2
		器楽②……………クリスマスソング	2
		鑑賞……………オラトリオ「メサイア」	2
	1	西洋音楽史……………古代から近現代、ポップスへ	2
		日本音楽史……………古代から近現代、新しい流れへ	2
		<総合まとめテスト>	2
	2	コンサートを開こう①……………計画	1
		コンサートを開こう②……………練習	2
		コンサートを開こう③……………仕上げ	2
	3	後期の学習のまとめ<実技テスト>……………芸術科発表会	2

5 その他

「音楽Ⅱ」を修得した生徒が選択することができます。自らが楽しむだけでなく、他者を音楽で楽しませるための様々なスキルを身に付けるための学習を行います。Ⅱまでの学習をベースに、音楽を専攻する学校に進学したい人、保育士など将来やりたい仕事のために音楽的スキルや表現力を身につけたい人等に必要、知識的にも技術的にもかなり専門的な内容(実技を伴う)になりますので、履修する際には注意してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 美術やデザインの歴史の学習を通じて、創造と表現の知識の幅を広げ、主題を効果的に表現し、自らのアイデアを具現化するための表現技術を高め、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、表現することができる。 (2) 学習した知識や技法を活用し、感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさをとらえ、表現形式や方法、材料や用具の用途や特徴を理解し、課題やテーマに合わせて効果的に生かし、自己の表現意図に合った方法で創意工夫し、表現することができる。 (3) 主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めることができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術1(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術やデザインの歴史の学習を通じて、創造と表現の知識の幅を広げ、主題を効果的に表現し、自らのアイデアを具現化するための表現技術を高め、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、表現することができる。	学習した知識や技法を活用し、感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさをとらえ、表現形式や方法、材料や用具の用途や特徴を理解し、課題やテーマに合わせて効果的に生かし、自己の表現意図に合った方法で創意工夫し、表現することができる。	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めようとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	オリエンテーション 絵画 ・鑑賞 絵画の魅力を感じよう ・表現 身の回りの物を描こう ・表現 鉛筆で自画像もしくは、自分の手を描こう デザイン ・鑑賞 デザインの広がりを考えよう ・表現 豊かな色彩感覚を身に付けよう ・表現 テーマに沿ってポスターをつくろう ・鑑賞 デザインの広がりを考える 前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	絵画 ・鑑賞 日本の美術の魅力を味わおう ・表現 絵の具で身近な風景を描こう 映像メディア ・表現 動きの効果を生かして物語を表現しよう 彫刻 ・鑑賞 彫刻について理解を深めよう ・表現 素材を使って抽象彫刻を作ろう 後期の学習のまとめ「これからの私と美術」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「美術とは何か」……オリエンテーション 美術の授業と学習内容の確認。	1
		鑑賞／絵画「視点と表し方」……人類の歴史と共にある美術について、その美術の果たしてきた役割と意義について学習。	1
		表現／絵画「身近なものを描く」……自らの手をよく観察し、普段気づかない点や構造的な点にも注意し、デッサンに取り組む。	11
	5		
	6	表現／絵画「人物を描く(鉛筆画)」……クロッキーとして、短時間で人物のフォルムをとらえる練習を行う。	2
		鑑賞／デザイン「デザインの世界」……社会や日常生活の中で、デザインが果たす役割とその仕事の多様さを学習。	4
	7	表現／色彩「色の仕組みや見え方を学ぶ」……視覚効果や日常生活の中で情報の伝達や説明に大きな役割を果たす色について学習し、校歌の歌詞をデザインし、合作としてそれぞれの個性が合わさった校歌の歌詞のデザイン画を制作する。	4
		表現／デザイン「色彩、文字、美の秩序などについて学ぶ」……デザイン学習での知識を生かし、平和をテーマにしたデザイン作品の制作を行う。	4
	8	表現／デザイン「ポスターで伝える」……ポスターに必要な、見るものに情報を伝える大切な要素を学び、学校行事のポスター制作を行う。	4
	9	鑑賞／デザイン「デザインの世界」……実際のデザインや、アートに携わるプロの人達の制作の様子を鑑賞し、自らが物事に取り組む姿勢を学習する。	2
		前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……友達の作品の鑑賞と、学習の振り返りをレポートにまとめる。	2
後期	10	鑑賞／絵画「日本美術」……古くから、海外の影響を受けながらも、独自の発展を遂げてきた日本の美術の歴史について学習する。	2
		表現／絵画「風景を描く」……遠近法など風景表現の技法を学習し、校内の風景をテーマに、透明水彩絵の具を用いて制作する。	12
	11		
		表現／映像メディア表現「アニメーションの手法」……動く絵、アニメーションについて学習し、パラパラ漫画の制作に取り組む。	8
	12		
	1	鑑賞／彫刻「環境を彩る造形」……モニュメントとしての彫刻作品について学習する。	2
		表現／彫刻「抽象彫刻で表す(紙立体)」……規定に定まらない自由な発想の作品を目指し、紙の素材と材料を用いた立体作品に取り組む。	9
	2		
	3	後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……1年間を振り返り、取り組んだ制作や学習した知識について確認し、今後も日常で楽しめる美術の在り方について考える。	2

5 その他

美術Ⅰは、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2 年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 美術、デザイン表現の知識、表現技術を生かし、主題を効果的に表現し、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、創造的に表現することができる。 (2) 感性や想像力を働かせて、自らの作品のイメージを明確にし、材料や用具などについての体験的理解を基に、自己の表現意図に合った創作を行い、対象のよさや美しさをとらえ、対象の良さの表現に意欲的に取り組み、制作することができる。 (3) 先人の積み上げてきた芸術の表現技術や活動を学習し、それらの活動の成果が今日の社会に与えた影響に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めることができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術2(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	美術、デザイン表現の知識、表現技術を生かし、主題を効果的に表現し、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、創造的に表現することができる。	感性や想像力を働かせて、自らの作品のイメージを明確にし、材料や用具などについての体験的理解を基に、自己の表現意図に合った創作を行い、対象のよさや美しさをとらえ、対象の良さの表現に意欲的に取り組み、制作することができる。	先人の積み上げてきた芸術の表現技術や活動を学習し、それらの活動の成果が今日の社会に与えた影響に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めようとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	オリエンテーション 絵画 ・鑑賞 「表現とは何か」オリエンテーション 「絵画の役割と写真の発明」 美術史 「美術表現の起源から西洋の美術まで」 ・表現／絵画「質感をとらえて描く」 「鉛筆によるトリックアートの世界」 彫刻「身近な材料で表す」 デザイン ・鑑賞「使う人のためのデザイン」 「作品展示と鑑賞会」	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	デザイン ・表現 「暮らしの中で使うものをデザインしよう」 「紙の特性を生かして伝える」 絵画 ・表現 「感覚の冒険」心で捉えたイメージを形と色で表そう 表現／デザイン ・映像メディア表現 「キャラクターのデザイン」 「これからの私と美術」 「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」 美術の働きについて考えよう	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「表現とは何か」……オリエンテーション 美術Ⅰを振り返り、鑑賞・名画の模写練習	1
		鑑賞／絵画「絵画の役割と写真の発明」……写真機の発明による絵画の役割の変化を知る。 鑑賞レポート	1
		表現／絵画「質感をとらえて描く」細密デッサン	8
	5	表現／絵画「鉛筆によるトリックアートの世界」……だまし絵、3D アートの表現を学習し、 制作に取り組む。	7
	6	鑑賞／美術史「美術表現の起源から西洋の美術まで」……鑑賞レポート	2
	7	表現／彫刻「身近な材料で表す」……木材を用いた、「お箸」の制作	14
	8 9	前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……鑑賞 レポート	2
後期	10 11 12	表現／デザイン「紙の特性を生かして伝える」……パッケージデザイン制作	22
	1	表現／デザイン・映像メディア表現「キャラクターのデザイン」……商品キャラクターの制作。 パソコンなど情報機器を用いた表現も学習。	6
	2	表現／絵画「感覚の冒険」……コラージュについて学習。作品制作。	5
	3	後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」……鑑賞、振り返り レポート	2

5 その他

美術Ⅱは、美術Ⅰと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・美術Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 長い歴史に培われ、広い世界で大きな役割を果たしてきた、美術文化の理解を一層深め、その表現技術や創作にかかる姿勢を学ぶことから自らの制作のアイデアの着想につなげ、自らの作品づくりを行うことができる。 (2) 学習した知識からアイデアの幅を広げ、材料や用具などについての体験的理解を基に、創作表現のより豊かな作品を完成させることができる。 (3) 正しい学習姿勢で作品制作、鑑賞学習に取り組み、主体的に自ら関心をもった美術の分野の知識、表現技術を高め、独創性の探求に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術3(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	長い歴史に培われ、広い世界で大きな役割を果たしてきた、美術文化の理解を一層深め、その表現技術や創作にかかる姿勢を学ぶことから自らの制作のアイデアの着想につなげ、自らの作品づくりを行うことができる。	学習した知識からアイデアの幅を広げ、材料や用具などについての体験的理解を基に、創作表現のより豊かな作品を完成させることができる。	正しい学習姿勢で作品制作、鑑賞学習に取り組み、主体的に自ら関心をもった美術の分野の知識、表現技術を高め、独創性の探求に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	鑑賞 オリエンテーション 鑑賞／絵画 鑑賞 表現／絵画 鉛筆画 鉛筆による細密描画 鑑賞／彫刻 鑑賞 表現／彫刻 フィギュア人形制作 発表 鑑賞 レポート	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	鑑賞／デザイン 鑑賞 環境問題を考えた住宅 設計 調べ学習 表現／デザイン グラフのデザイン制作 鑑賞／映像メディア表現 アニメーションの制作過程を学習 アニメーションの要素を含んだ作品制作 発表 鑑賞 レポート	・作品 ・レポート提出課題	・作品	・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「美しいとは何か」……………オリエンテーション 美術Ⅰ、Ⅱの振り返り 多様化する美術表現について学習。	1
		鑑賞／絵画「西洋のまなざしとの出会い」……………江戸時代幕末より現代にいたるまで西洋 の美術表現が日本に与えた影響と変化の歴史を学習。	1
	5	表現／絵画「興味のあることを描く」……………モチーフについて時間をかけて観察し、 モチーフの形態や特徴をよく表現した鉛筆による細密描画を制作。	10
	6	鑑賞／彫刻……………彫刻の表現の一つである木彫や現代多くの人々に関心をもたれている フィギュア人形について学習。	2
	7 8 9	表現／彫刻……………木の材質の粘土を用いて彫刻作品を制作。	19
		前期の学習のまとめ……………前期の制作を振り返り、友達の作品の鑑賞、学習内容の確認の レポートに取り組む。	2
後期	10	鑑賞／デザイン「自然と人間のかかわり」……………環境に優しい住宅のデザインについて 学習。	2
	11	表現／デザイン「情報の視覚化」 イラストでグラフをデザインしよう。…………… グラフの 役割を学習し、テーマを考えグラフをデザインする。	15
	12	鑑賞／映像メディア表現「アニメーションの技法」……………アニメーション表現について学習 し、その表現技術を生かした作品制作に取り組む。	16
	1 2		
	3	後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……………これまで学習した美術の授業から、知識 に関すること、制作に関することを振り返り、今後、美術を社会の中で生かしていくためにはどう するか、自分が美術を生かすためにはどうするかを考える。	2

5 その他

美術Ⅲは、美術Ⅰ・Ⅱと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。授業では、教師作成のテキストやワークシート、資料等も用いて学習します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅰ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を活用することができる。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができる。 (3) 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	書Ⅰ(光村図書) 硬筆レッスン帳(教育図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を活用することができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	書道への導入 漢字の書	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	書道で学習すること	2
		書写から書道へ	2
	5	〔1 漢字の書〕 1 はじめに 漢字の変遷とさまざまな書体	6
		2 文字の造形を学ぶ	14
	6	〈楷書〉 あなたは、どの楷書が好き？ 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘、雁塔聖教序、顔氏家廟碑	
	7	〈行書〉 蘭亭序、争坐位文稿、蜀素帖、風信帖 〈草書〉 真草千字文 〈隸書〉 曹全碑 〈篆書〉 泰山刻石	
		3 創作する	9
	8	古典を生かした創作	
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	〔2 仮名の書〕 1 はじめに 仮名の成立と種類	6
		2 文字の造形を学ぶ	7
	11	仮名の筆使い 平仮名、変体仮名 蓬莱切	
		3 構成を学ぶ	5
	12	継色紙	
		4 創作する	5
	1	古筆を生かした創作	
		〔3 漢字仮名交じりの書〕 1 はじめに 漢字仮名交じりの書とは	2
		2 創作する 好きな言葉を書こう	3
	2	篆刻	5
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

楷書や行書、仮名などの基礎的な技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅱ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を活用することができる。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。 (3) 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を活用することができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔1 漢字の書〕 1 はじめに 個性豊かな漢字の姿	4
	5	2 篆書 泰山刻石	5
	6	3 隷書 乙瑛碑	5
		4 草書 十七帖	5
	7	5 行書 集王聖教序	5
		6 楷書 孟法師碑	5
	8		
	9	7 創作する 座右の銘を書こう	4
		前期の学習のまとめ	2
後期	10	〔2 仮名の書〕 1 古筆に学ぶ 高野切第一種 平仮名・変体仮名	8
	11	2 創作する 百人一首を書こう	4
		〔3 漢字仮名交じりの書〕	6
	12	1 古典・名筆に学ぶ 風景を書で表現する 古典の書風を生かそう	
		2 創作する	6
	1	イメージを書で表現する ポスターを作ろう	
		〔4 篆刻・刻字〕	4
		1 はじめに 多彩な印の表現 さまざまな書体で見る姓名印	
	2	2 創作する 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	5
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

楷書や行書、仮名などの技術の習得から、各自の制作意図に基づいて多様な表現の作品創作を行います。
毎時間のように実技を行いますので、楽しみながら意欲的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・書道Ⅲ	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表すことができる。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。 (3) 主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	書Ⅲ(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表すことができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができる。	主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組もうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書 仮名の書	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字/書道史	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	書論とは	2
		〔1 漢字の書〕	
		漢字の書の多様性を楽しむ	
		1 篆書 散氏盤	4
	5	2 隸書 礼器碑	4
		3 行書・草書 喪乱帖	4
	6	4 楷書 玄秘塔碑	4
		5 創作する	6
	7	漢字の書作品を味わう 漢文を書こう	
		〔2 仮名の書〕	4
後期	8	仮名の書の多様性を楽しむ	
		1 平安時代中・後期	5
	9	字体の違いを捉えよう 秋萩帖・升色紙	
		前期の学習のまとめ	2
	10	〔2 仮名の書〕	
		2 鎌倉時代以降	2
		際立つ個性を楽しもう	4
		更級日記・源氏物語抄・和歌一種	4
	11	3 創作する	
		〔3 漢字仮名交じりの書〕	
後期		漢字仮名交じりの書を楽しむ・味わう	2
		未来への決意を書こう	4
	12	文士の手紙生活の中の書	4
		〔4 篆刻・刻字/書道史〕	
		篆刻を楽しむ	5
	1	刻字を楽しむ	5
	2	中国・日本書道史	3
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

書は、各時代の生活や文化と係わり合いながら変化と成長を遂げ、今に至っています。さまざまな時代の書を体験し、それぞれの表現を駆使して自分の表現に磨きをかけましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・実用音楽	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、表現意図に基づいた音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (2) 自らの感覚と意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を比較解釈し、評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることができる。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。
使用教科書 副教材等	音楽 I Tutti+(教育出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、表現意図に基づいた音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	自らの感覚と意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を比較解釈し、評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養おうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「実用音楽」を学習するにあたって 歌唱(斉唱・日本歌曲、外国語歌曲) (合唱) 器楽(合奏) 楽典(基礎全般) ソルフェージュ(視唱、リズム打ち) 鑑賞(季節や行事などに関連して)	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	歌唱(二部または三部合唱) 器楽(合奏) リズム・アンサンブル 楽典(読譜と記譜) 鑑賞(音楽に関する舞台や映画など) グループ発表会	・小テスト ・提出課題	・実技テスト ・授業中の観察	・提出課題 ・授業中の観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「実用音楽」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習のねらい	1
		ソルフェージュ……………リズム練習、視唱	3
	5	歌唱①……………「優しいあの子」「浜辺の歌」など(斉唱)	2
		楽典(基礎全般)……………楽譜の分析	4
		歌唱②……………「故郷」など(合唱)	4
	6	<楽典小テスト>	2
		器楽①……………ウクレレ「島人ぬ宝」	3
	7	鑑賞(季節・行事)……………沖縄エイサー 他	2
		器楽②……………エイサーに挑戦(グループ合奏)	4
		<実技テスト(合奏)>	2
後期	8	鑑賞(季節・行事)……………日本の祭り、郷土の芸能	2
	9	器楽③……………キーボード・アンサンブル「カノン」	4
		前期の学習のまとめ	2
	10	歌唱③……………ポピュラー音楽に親しむ「ビートルズ」	2
		楽典(読譜・記譜)……………アンサンブル楽譜を作ろう	4
		「Yellow Submarine」	
	11	器楽④……………「Yellow Submarine」(合奏)	4
		劇音楽の世界……………ジョン・ウィリアムズ	2
		映画「ホーム・アローン」(鑑賞)	2
		クリスマス・ソング(合奏)	4
後期	12	歌唱④……………ゴスペルに挑戦	2
		鑑賞……………映画「天使にラブ・ソングを」	2
	1	音楽で祝う新年①……………ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート	2
		音楽で祝う新年②……………歌舞伎座 初春大歌舞伎	2
		<実用音楽総合テスト>	2
	2	発表会に向けて……………ソロ・合唱・合奏から自由に選択	4
		<実技テスト(発表会)>	1
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

生涯にわたって音楽を楽しむことができるよう、実践的に様々なジャンルの音楽活動に挑戦していきます。合唱やグループでの合奏や発表など、集団での演奏活動が主になりますので、休まずに出席すること。それを理解した上で履修して下さい。定期考査は行いませんが、授業の中で基礎力を問う筆記テストや技術力を身に付けるための実技テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術・実用書道	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための実用的な技能を身に付けることができる。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい実用的にとらえたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の実用的な活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。
使用教科書 副教材等	30 日で上達！書き込み式ボールペン字練習帳(成美堂出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための実用的な技能を身に付けることができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい実用的にとらえたりすることができる。	主体的に書の実用的な活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	実用書道について 硬筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点
後期	毛筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・作品制作
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	実用書道について	4
	5	[硬筆による学習]	8
	6	検定試験問題演習	15
	7		
	8	[作品制作] 水墨画、絵手紙など	6
	9	 前期の学習のまとめ	2
後期	10	[毛筆による学習]	8
	11	検定試験問題演習	14
	12		
	1	[作品制作] 水墨画、絵手紙など	11
	2		
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

実用書道では、日常生活における硬筆と毛筆の書の技能を習得していきます。生活の中の書に興味関心をもつようにしましょう。硬筆毛筆書写技能検定の内容を中心に、実技だけでなく理論的なことも学習していきます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術・ビジュアルデザイン	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 人々の生活に「使いやすさ」、「わかりやすさ」、「心豊かにする」ことをもたらしたデザインについて、デザインの歴史からデザインの定義と条件を学び、それらを生かした課題学習を通じて、課題の意図に沿ったデザイン作品を完成させるため、表現に必要な知識と技術を身に付けることができる。 (2) デザインのテーマについてよく考え、考えから生まれたアイデアを効果的に表現するために技術、知識素材、道具の特性をよく知り、デザイン作品を完成させることができる。 (3) デザイン表現のために、参考、アイデアのもととなる作品の鑑賞を行い、表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫、意欲的に材料や用具を活用したデザイン制作に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	高校生の美術1 (日本文教出版) Illustrator よくばり入門 CC 対応(できるよくばり入門)(インプレス)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人々の生活に「使いやすさ」、「わかりやすさ」、「心豊かにする」ことをもたらしたデザインについて、デザインの歴史からデザインの定義と条件を学び、それらを生かした課題学習を通じて、課題の意図に沿ったデザイン作品を完成させるため、表現に必要な知識と技術を身に付けることができる。	デザインのテーマについてよく考え、考えから生まれたアイデアを効果的に表現するために技術、知識素材、道具の特性をよく知り、デザイン作品を完成させることができる。	効果的なデザイン表現のために、参考、アイデアのもととなる作品の鑑賞を行い、表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫、意欲的に材料や用具を活用したデザイン制作に取り組もうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	・オリエンテーション ・デザインの基礎「サインのデザイン」 ・平面・立体デザイン「ポップアップを用いたデザイン」 ・映像メディアデザイン「コンピュータグラフィックスの世界」 ・平面・立体デザイン「生活を彩る模様のデザイン」 ・「作品展示と鑑賞会」	・鑑賞 ・調べ学習 ・レポート作成 ・アイデアスケッチ ・作品制作	・アイデアスケッチ ・作品制作	・作品発表 ・レポート作成 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	・図法・表示法「座り易さを追求した椅子の模型の制作」 ・平面・立体デザイン「カレンダーの制作」 ・空間デザイン「公園遊具のデザイン」	・鑑賞 ・調べ学習 ・レポート作成 ・アイデアスケッチ ・作品制作	・アイデアスケッチ ・作品制作	・作品発表 ・レポート作成 ・授業中の観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	鑑賞「ビジュアルデザインとは何か」……………オリエンテーション デザインという仕事と役割、 その中でビジュアルデザインとは何かについて学習する。	1
	5	デザインの基礎「サインのデザイン」……………言葉や文字を使わずに情報を伝えるピクトグラム について学習し、制作する。	7
	6	平面・立体デザイン「ポップアップを用いたデザイン」……………効果的な強い印象を人に与える 仕掛け、ポップアップを学習し、ポップアップの仕掛けを用いた広告カードを制作する。	11
	7	映像メディアデザイン「コンピュータグラフィックスの世界」……………情報機器、パソコンの Word 機能を用いて模様や、デザイン制作の練習に取り組む。	4
	8	平面・立体デザイン「生活を彩る模様のデザイン」……………情報機器、パソコンの Word 機能を 用いてチラシ、ハガキ制作を行う。	10
	9	前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……………前期で表現した作品の展示と鑑賞、 振り返り。	2
後期	10	図法・表示法「座り易さを追求した椅子の模型の制作」……………椅子の用途や役割、ユニークさ を追求するなど用途や意味に広がりがある椅子について学習し、自ら椅子をデザイン、椅子の 模型制作を行う。	12
	11		
	12	平面・立体デザイン「カレンダーの制作」……………パソコンの illustrator 機能を用いて、 カレンダー制作を行う。	10
	1	空間デザイン「公園遊具のデザイン」……………使う人が楽しめる空間づくりについて考え、公園 の遊具を含めた公園のデザインについて考える。	11
	2		
	3	後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」……………これまで学習した ビジュアルデザインについて振り返り、デザインの仕事の今後について考える。	2

5 その他

視覚的な表現で、伝達する技術・知識を学習し、デザインの専門性を高め、実際のデザインの仕事で行われる制作を課題として学習するなど、将来の進学・職業で活かせるデザイン学習を目的とします。